



# ミツバツツジ類

## 〔三葉躑躅〕

5本の樹

落葉／低木／木本植物／在来種



**科名** ツツジ科 (APGⅢ)

**特記** 生長：普通

葉の展開前の枝先に2～3輪ずつ咲くため、早春の庭がピンク色に彩られる。枝先に菱形の葉が輪生するため「三葉」の名もある。「東国ミツバツツジ」「西国ミツバツツジ」のように各地の山野に地域種が自生するため種類が多い。繁殖は、実生生産されるため個体差がある。



### Memo

落葉性ツツジで、3枚ずつ葉が付くものをミツバツツジ、5枚ずつ付くものをゴヨウツツジという。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期				■									
果 実				(鑑賞には向かない)				■					
紅葉・黄葉												■	
施 肥		■				■							
剪 定		■					■ (花後早めに) ★★						

★：花芽分化の時期（分化後に剪定すると花付が少なくなる）

好みの環境					
日 当 り	陽	○	○	○	陰
土 壌	乾	○	○		湿
寒 さ	強	○			弱
暑 さ	強	○			弱
潮 風	強		○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○	○		○	○		

**ポイント** 浅根性（根の張り方が浅い）のため表土が乾燥したり過湿になると枯れやすい。夏場は朝のうちに充分灌水する。日当たりと水はけのよい腐植質の酸性土壌を好む。花後、お礼肥を施すとよい。

**剪 定** 落葉性のツツジ類は、萌芽力が弱いので刈り込みは控える。剪定は枝の分かれ目から切り、樹形を整える程度に留める。徒長枝や花付の悪い古枝は基部から除去するとよい。

**病虫害** 乾燥するとハダニやグンバイムシが発生しやすい。ベニモンアオリンガ（蛾の一種）の幼虫が発生すると、新葉や蕾に侵入し食害する。

呼べる蝶 コツバメ・ヒメシジミ・クロシジミ